

Ⅲ. 古典日本文学関係データ

福田, 安典

<https://doi.org/10.15017/7172686>

出版情報 : 障害史研究. 6, pp.37-43, 2024-03-28. Society for Disability History Studies
(Shōgaishi Kenkyūkai)

バージョン :

権利関係 :



Ⅲ．古典日本文学関係データ

（福田 安典 編）

日本古典文学領域は、「障害」という現代的な概念が確立しておらず、「障害／障害者」という事象を指すのか人を指すのかも区別できないこともあり、採録にあたっては障害者という人事に関わるものを採録した。また、聾啞や盲人についてはすでに検校などの研究が進められているために、精神疾患を指す語に着目した（『呉氏医聖堂叢書』など）。短いものは原文を抜き出したが、長文に亘るものは要約している。

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
生まれながらに鉢をかぶる娘を「かたわ」と呼ぶ	鉢かづき	『御伽草子』日本古典文学大系38巻 岩波書店、1958年	享保頃（1716-1736）	60-83	
博打に負けた三人の男が、にせの盲人や聾啞となる。	集狂言 三人片輪	『狂言集』下 日本古典文学大系43巻 1961年	江戸初期	388-392	
足が動かないかたわ	集狂言 仁王	『狂言集』下 日本古典文学大系43巻 1961年	江戸初期	434	
僧に対して「病ひ者かかたわ者」と呼ぶ	韓人漢文手管始	『歌舞伎脚本集』上 日本古典文学大系53巻 1980	寛政1（1789）	407	
胸に穴がないのを「かたわ」と呼ぶ	風流志道軒伝	『風来山人集』日本古典文学大系55巻 1961	宝暦13（1763）	198	
気が違う	放屁論後編	『風来山人集』日本古典文学大系55巻 1961	安永6（1777）	254	
弁天をのけると跡はかたわ也	誹風柳多留 初編	『川柳狂歌集』日本古典文学大系57巻 1958	明和2（1765）	45	
片破カタワモノ	増補下学集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	元禄12（1699）	609	
片輪カタワ	書言字考節用集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	享保2（1717）	609	
かたわ	倭訓栞	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	江戸後期	609	
片羽者 かたはもの	和字正濫抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	元禄6（1693）	609	
畸疾 片羽	賤者考	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	弘化4（1847）	610	
かたわもの	和漢三才図会	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	正徳2（1712）	610	
露のくせ。かたはなくて	枕草子	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1000頃	610	
まろがかくかたはに成なるとき	源氏物語	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1000頃	610	
いみじきかたわのあれば	源氏物語	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1000頃	610	
かたは者	信長公記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1600頃	610	
片目 ちんば かたわ	岩淵夜話別集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1700頃	610	
不具	伊呂波字類抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	鎌倉初期？	611	
不具	運歩色葉集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	天文18（1549）	611	
長和五年 不具	小右記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1000頃	611	
蛭子足が立たない	日本書紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	611	

Ⅲ. 古典日本文学関係データ

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
体が柔らかい君仁親王	続世継	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1170頃	612	
骨なし	内科秘録	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1800年代	612	
骨なし	漫遊雑記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	明和1 (1764)	613	
額に目がある (一つ目)	本朝世紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	久安6 (1150)	613	
額に角がある	日本書紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	613	
額に角がある	日本記略	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	不明	613	
額に角がある	三養雑記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	明治23 (1890)	613	
額に角がある	人頭生角記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	江戸後期	614	
顎の下に口がある	台記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1100年代	614	
頭二つと手が四本	続日本記	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	800頃	614	
頭二つと手が四本	百鍊抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1200年代	615	
両面四手	日本書紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	615	
手がない人	和漢三才図会	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	正徳2 (1712)	615	
駢拇 指が六本の 人	倭名類聚抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	615	
駢拇 指が六本の 人	伊呂波字類抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	鎌倉初期?	615	
駢拇 指が六本の 人	下学集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	元禄12 (1699)	615	
駢拇 指が六本の 人	和漢三才図会	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	正徳2 (1712)	616	
駢拇 指が六本の 人	瘍科秘録	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	弘化4 (1847)	616	
駢拇 指が六本の 人	百鍊抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	800頃	616	
はにわり 半月 性器が男女の二つ を持つ	倭名類聚抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	616	
はにわり 半月 性器が男女の二つ を持つ	類聚名義抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	1000年代	616	
はにわり 半月 性器が男女の二つ を持つ	伊呂波字類抄	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	鎌倉初期?	616	

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
ふたなり 二形 両性具有	書言字考節用集	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	享保2（1717）	617	
ふたなり 二形 両性具有	病草子	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	平安末－鎌倉初	617	
ふたなり 二形 両性具有	病名彙解	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	貞享3（1686）	617	
肛門がない	三代実録	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	800年代	617	
肛門がない	病草紙	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	平安末－鎌倉初	617	
肛門複数	病草紙	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	平安末－鎌倉初	617	
尾がある	日本書紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	617	
翼がある人	日本書紀	『古事類苑』人部1 吉川弘文館1927	900年代	617	
移精変気という精神 病	療治夜話	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	嘉永3（1850）	1月 24日	『素問』の用語、祝由とも
心気病	療治夜話	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	嘉永3（1850）	6	
癲狂疾	癲癇狂経験方	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文政2（1819）	25-38	
狂簡	吐方編	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文化14（1817）	2-53	
狐憑き	吐方編	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文化14（1817）	46	
狐憑き	人狐辨惑談	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文政9（1820）	55-78	
猿神	人狐辨惑談	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文政9（1820）	71	
犬神	人狐辨惑談	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文政9（1820）	71	
癖	癖類少史	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正		79-84	明の作品
狐憑き	妖怪門勝光伝	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	文化13（1816）	93	
狐憑き	古今妖魅考	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	天保2（1831）	242	
狂気	古今妖魅考	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	天保2（1831）	183-424	
狂を治す導引	古今養生録	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	元禄5（1692）	549-577	
癲癇	一本堂行余医言	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	天明8（1788）	579-601	
狂	一本堂行余医言	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	天明8（1788）	579-601	
癲癇	名医雑病彙論	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	18世紀	621-652	
狂	名医雑病彙論	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	18世紀	621-652	

Ⅲ. 古典日本文学関係データ

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
癲癇	雑病広要	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	嘉永 7 (1854)	653-694	
狂	雑病広要	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	嘉永 7 (1854)	653-694	
癲狂論	酒説養生記	『呉氏医聖堂叢書』 思文閣、大正	享保14 (1729)	752	
狂人が怖い	尤之草紙	『新古典文学大系 仮名草子集』	17世紀	105	
狂人が怖い	宿直草	『叢書江戸文庫』	延宝 5 (1677)	326	
狐憑き	一本堂行余医言	『一本堂行余医言』	天明 8 (1788)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	牛山活套	『牛山活套』	元禄12 (1699)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	時環読我書	『時環読我書』	天保10 (1839)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	生生堂雑記	『生生堂雑記』	寛政11 (1799)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	方伎雑誌	『方伎雑誌』	明治 3 (1870)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	本朝医談	『本朝医談』	文政 5 (1822) - 天保 1 (1830)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	療治茶談	『療治茶談』	天明 1 (1781) ~ 文化 5 (1808) ~ 文政 6 (1823)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
狐憑き	和方一千方	『和方一千方』	天明 1 (1781)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
鬼子	小児必用養育草	『小児必用養育草』	元禄16 (1703)		https://www.kitasato-u.ac.jp/toui-ken/research/search-system/sc_list.php 2023/11/12閲覧
女房をかたわに仕立てる	野白内証鑑	『八文字屋本全集』 2 巻	宝永 8 (1711)	55	
つんぼ	当世信玄記	『八文字屋本全集』 4 巻	正徳 3 (1713)	348	
かたわには家を譲らない	当世信玄記	『八文字屋本全集』 4 巻	正徳 3 (1713)	348	
つんぼ	当世信玄記	『八文字屋本全集』 4 巻	正徳 3 (1713)	348	
癲癇	当世御伽曾我	『八文字屋本全集』 4 巻	1700年代	97	
癲癇	野傾咲分色双子	『八文字屋本全集』 7 巻	1700年代	99	
癲癇の詐病	風流やさ平家	『八文字屋本全集』 5 巻	正徳 5 (1715)	394	

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
かたわを集める	手代袖算盤	『八文字屋本全集』 4巻	正徳3（1713）	459	
かたわになる	御伽平家	『八文字屋本全集』 10巻	享保14（1729）	225	
夫婦、損鉢（かたわ）となる	花襷巖流島	『八文字屋本全集』 15巻	元文4（1739）	256	
かたわな子	出世握虎昔物語	『八文字屋本全集』 9巻	享保11（1726）	298	
かたわもの	愛敬昔色好	『八文字屋本全集』 5巻	正徳4（1714）	173	
生まれつきのかたわもの	風流東大全	『八文字屋本全集』 11巻	享保16（1731）	254	
有馬温泉にかたわもの	略平家都遷	『八文字屋本全集』 13巻	享保20（1735）	86	
きちがいの沙汰	浮世親仁形気	『八文字屋本全集』 7巻	享保5（1720）	483	
狂気	曦太平記	『八文字屋本全集』 11巻	享保17（1732）	351	
狂う	曦太平記後楠軍 法鑑桜	『八文字屋本全集』 11巻	享保17（1732）	400	
狂人	女男色遊	『八文字屋本全集』 5巻	1700年代	259	
狐憑き	女男色遊	『八文字屋本全集』 5巻	1700年代	259	
狐憑き	名物焼蛤	『八文字屋本全集』 6巻	1700年代	112	
きちがい	風流宇治頼政	『八文字屋本全集』 8巻	享保5（1720）	40	
狐憑き	風流宇治頼政	『八文字屋本全集』 8巻	享保5（1720）	40	
狐憑き	役者色仕組	『八文字屋本全集』 8巻	享保5（1720）	86	
狐憑き	芝居万人葛	『八文字屋本全集』 9巻	1700年代	160	
狐憑き	安倍清明白狐玉	『八文字屋本全集』 9巻	享保11（1726）	226	
狐憑き	鬼一法眼虎の巻	『八文字屋本全集』 12巻	享保18（1733）	153	
狐憑き	武遊双級巴	『八文字屋本全集』 15巻	元文4（1739）	90	
狐憑きと山伏	風流東大全	『八文字屋本全集』 11巻	享保16（1731）	152	
ちんば	風流親仁形気	『八文字屋本全集』 7巻	享保5（1720）	455	
ちんば	鎌倉諸芸袖日記	『八文字屋本全集』 17巻	寛保3（1743）	30	
きちがい	世間胸算用	『新編西鶴全集』4 巻	元禄5（1692）	52	
狐憑き	世間胸算用	『新編西鶴全集』4 巻	元禄5（1692）	44	

Ⅲ. 古典日本文学関係データ

障害関連記事	出典	収載	時期	頁	備考
きちがい	西鶴織留	『新編西鶴全集』4巻	元禄7（1694）	359	
癲癘	西鶴織留	『新編西鶴全集』4巻	元禄7（1694）	418	
かたわども	西鶴名残の友	『新編西鶴全集』4巻	元禄12（1699）	665	
奇病で金魚のようになる	梅花氷裂	『山東京伝全集』16巻	文化4（1809）	642	
薬のせいで奇病となる	東海道四谷怪談	『東海道四谷怪談』四世鶴屋南北／ [作]：郡司正勝／ 校注（新潮日本古典集成）新潮社 1981	文政8（1825）	150-	